



# 道

学校の教育目標  
「ともに学び、  
心豊かで  
たくましい  
子供の育成」

## 感謝の気持ちを忘れずに

校長 松田 弘人

長い夏休みを終え、子供たちの元気な声が校舎に響き渡り2学期がいよいよ始まりました。大変暑い日が続きましたが、今年度は、夏季休業中のプール開放を9日間実施することができました。子供たちのプールでの様子を見に行くと、友達と水遊びをしたり泳ぐ練習をしたりして充実した時間を過ごしていました。このような時間をもつことができたのは、たくさんの保護者の皆さんにプール監視員として子供たちの安全を見守っていただいたおかげです。本当にありがとうございました。厳しい残暑が続きそうですが、熱中症対策等を徹底しながら、日々の教育活動を行ってまいりますので、どうかご協力よろしくお願ひします。

2学期は、運動会や学習発表会等の大きな行事がある最も長い学期であり、子供たちが多くのことを学び、大きく成長していく大切な時期です。始業式では、自分自身、周りの友達、学級や学年、色団、家族、地域の方のために、「何ができるのか」を一人一人がよく考え、感謝の気持ちを忘れず行動に移してほしいと伝えました。その際、レスリング女子50キロ級の須崎選手の話をしました。彼女は金メダルの本命だったのですが、試合の残り9秒で逆転負けをして初戦敗退となりました。試合後のインタビューでは、東京オリンピックの前よりも多くの方々に支えられ、応援してもらって戦ってきた3年間だったが、負けたことで皆さんの時間と努力をすべて無駄にしてしまったので申し訳ない気持ちでいっぱいだという話を語っていました。また、翌日の3位決定戦に勝ち、銅メダルを獲得した後のインタビューでは、「『オリンピックチャンピオンの須崎優衣でなかったら、もう価値がないのではないか』と思っていたのですが、一人の人間として応援してくださる方が多いことに気付いて『本当に私は幸せだな』と感じました。もう一度、4年後にオリンピックチャンピオンになって、皆さんと一緒に喜び合える日まで、また戦い続けたいなと思いました。」と話してくれました。私は須崎選手の結果ではなく、競技への「努力」、周りの人たちへの感謝の「姿勢」、このように誠実に語れる「人柄」の3点から、今回の挫折を糧に、さらにもう一回り成長する須崎選手の姿を見ていきたいと強く思いました。



〈6年生応援練習の様子〉

東部っ子には、須崎選手と同じように応援してくれるたくさんの方が周りにいます。感謝の気持ちを忘れず、結果だけでなく努力の過程や取り組む姿勢を大切にして、2学期の間に自分のよさをさらに伸ばしてほしいと思います。ぜひ、ご家庭でも子供たちに温かい励ましの言葉をかけていただきますようお願いいたします。

## アクションプランの取組経過について（お知らせ）

今年度も、子供たちが、より充実した学校生活を送ることができるように**アクションプラン**を設定し、取り組んでいます。1学期の取組結果をお知らせします。（9月1日現在）

	重点課題	数 値 目 標	目標達成率
1	好ましい学習習慣の形成	・80%以上の児童が（学年×10）分間（1年は20分間）の家庭学習に取り組む。	家庭学習強調旬間中、毎日目標時間以上取り組めた達成率 (全) 74.8%
2	しっかりと黙働清掃に取り組む児童の育成	・80%以上の児童が、黙働清掃に取り組む。	達成率 (全) 69.6%
3	進んで体力づくりに取り組む児童の育成	・80%の児童が、「日本一周スポーツカード」の山梨県（17マス）を達成する。	達成率 (全) 70.0%

### 【考察及び今後の取組】

#### 【学習指導】

1学期は目標の80%にわずかに届かず下回る結果となった。今年度は取組期間を1週間から2週間に延長し、「全日取り組めたら達成」から「期間中10日間以上取り組めたら達成」にした。学習習慣は身に付いているものの、習い事や病気等の理由から全日取り組むことが難しい子供もいるのではないかと考え、設定目標を見直してみた。特に高学年では、昨年度までは習い事等の理由から達成できていなかった子供が達成できているなど、家庭での学習習慣は定着している面も見られる結果となった。一方で、毎日学習に取り組む習慣は定着しているが、学年の目標時間にわずかに届いていない（あと数分間等）という実態も見られる。宿題の内容や量を見直したり、自分で学習内容を考える力を身に付けさせたりすることが課題ではないかと考える。また、取組期間を学期末にしているが、「学習のたしかめ」に向けて家庭学習強調旬間に取り組むことで子供の意欲にもつながるのではないかとということも考えられる。2学期は取組期間に配慮して取り組んでいきたい。

#### 【生活指導】

全体的に80%の目標を下回る結果になった。昨年度までは各自の自己評価の結果を集計していたが、今年度からは班のリーダーから見た評価を加味した結果、昨年度よりも客観的な評価となり、達成度の低下につながったのではないかと考えられる。また、なかよし班の仲が深まり、つつい気が緩んでしまっている可能性も考えられる。

2学期以降は、担当教員による子供たちの清掃活動の様子の見守りや指導を強化したり、清掃活動の振り返りの場で指導や助言を積極的に行ったりするようにしたい。また、教員からの指導の強化に併せて、児童会から黙働清掃の意識を高めるような集会の企画や、呼びかけ運動を増やしていくようにしたい。

「掃除をさせられる」のではなく、「自分たちの過ごす場所をきれいにしたい」と児童自身が感じることができるよう教員の声かけ、児童会からの働きかけを意識していきたい。

#### 【体力づくり】

目標の80%を下回った結果となった。今年度は子供たちが意欲的に体力づくり運動に取り組めるように、各なかよし班で集まってから自分たちで取り組む運動を決めるようにした。意欲的に取り組める一方で、運動が決定するまでに時間を要し、実際の取組時間が短くなってしまふ班も見られた。また、学期末の臨時校時期間は体力づくりタイムが取れなかったこともあり、十分な取組時間をもつことができなかった。これらの点が子供たちの自己評価が低くなった要因となり、目標を下回ったのではないかと考えられる。

2学期以降は十分な取組時間の確保を意識して取り組ませたい。そのために、活動内容については事前に計画を立てる時間を取り、体力づくりタイムになったらすぐに活動に取り組めるようにしたい。また、引き続き教員も活動の様子を見ながら励ましの声かけをするなど、一緒に活動に取り組むとともに、スポーツカードの記録の徹底にも留意したい。

今後も一人一人が目標達成できるよう励ましていきたいと思っております。ご協力をお願いします。